

あなたの「ちょっとした工夫」が安心につながります。

やさしい日本語 + α の工夫

4 つの事

言葉の工夫

- 文は短く。一文にひとつの情報
- 難しい単語は言い換える
(例：処分 → すてる)
- 曖昧な表現・敬語・擬声語などは難しい。他の言葉に言い換える
- 漢字にはふりがなを振る

見せる工夫

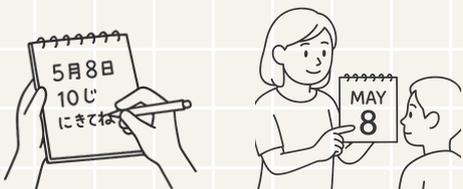
- 必要に応じて写真や実物を見せる
- 図・絵・イラストを活用する
- ジェスチャーも有効

写真を見せるときは、伝えたいものだけが写っている写真を選びましょう。色々なものが写っていると、何を伝えたいのかがわかりにくくなります。



書く・使う工夫

- 紙に書いて渡す（メモ）
- カレンダーで日にちを示す
- 地図・表・ピクトグラムも有効
- 翻訳アプリを一緒に見る



聞く・確かめる工夫

- 相手の表情をよく見る
- 伝わっていないと感じたら、別の言い方で伝えてみる
- 「わかりましたか」と聞くだけでは本当に伝わったかわからないことも。そのときは相手の言葉で確認できる聞き方をしてみよう
(例：明日何時に来るかわかりましたか?)

「伝える」と「確かめる」はセットで

